

授業科目名・形態	日常生活支援技術演習Ⅷ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志・山田克宏	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行なうための知識・技術を習得する学習とする。生活支援技術論で学習した人体の構造と機能の知識を基に自立に向けた睡眠の介護についての知識と技術を習得する。

【到達目標】

- 1) 健康を保持するための休息や睡眠の重要性を理解し、安眠を促す環境を整える支援を理解する。
- 2) 利用者の状態・状況に応じた睡眠介助の留意点を理解し、実践を想定した技術を習得する。

【授業計画・内容】

- 第1回 睡眠の意義と目的、安全・安楽について考える（石岡）
- 第2回 睡眠における ICF の視点とアセスメント（石岡）
- 第3回 安眠のための介護の理解と実践（石岡）
- 第4回 安眠を促す介助の技法（石岡）
- 第5回 睡眠における介護技術 ①基本的理解（石岡）
- 第6回 睡眠における介護技術 ②自立度が高い場合、部分的援助を要する場合（石岡）
- 第7回 睡眠における介護技術 ③全面的援助を要する場合（石岡）
- 第8回 睡眠における介護技術 ④（山田）
- 第9回 睡眠における介護技術 ⑤（山田）
- 第10回 安眠のための介護の工夫（山田）
- 第11回 感覚機能が低下している人における睡眠の介護技術（山田）
- 第12回 運動機能が低下している人における睡眠の介護技術（山田）
- 第13回 認知・知覚機能が低下している人における睡眠の介護技術（山田）
- 第14回 不眠時の対応（山田）
- 第15回 関連職種の役割と連携、福祉機器（山田）

【授業実施方法】

グループワーク、演習形式とする。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

介護の基本、介護総合演習、生活支援技術論

【教科書等】

新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅱ（第3版）中央法規出版

【参考文献】

必要に応じて、授業の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

授業態度等 10%、レポート等 20%、筆記試験 70%による総合評価とし、60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設での介護職員としての経験を活かし、快適な睡眠が提供できるような実践的授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

対象者の個性や安眠について理解し、積極的に基本技術を習得しましょう。